

春の街歩きは御茶ノ水から～♪

2023年春の街歩きは、3月19日(日)、御茶ノ水駅に1時30分に集合、スタートで始まりました。集まったメンバーは、伊藤、小垣原、久保田、栗田、小林(太)、土谷、濱田、松本、安松の各氏。



雲一つない青空の下、先ずはニコライ堂の名で知られる東京復活大聖堂に向かいました。

ビザンチン様式の聖堂は、関東大震災での被災後、1929年に復興し、1962年に重要文化財に指定されています。中に入ると聖母マリヤをはじめとする聖人のイコンが飾られ、ステンドグラスからは鮮やかな光が聖人の姿を浮かび上がらせ、その美しさに感動させられました。

続いて、聖橋で神田川を渡り、湯島聖堂に向かいました。儒学振興のために五代将軍綱吉により設置され、その後、昌平坂学問所が設けられた湯島聖堂ですが、今日では大成殿は立派ですが、構内のあちらこちらに草が生え、手入れが行き届いていないのが残念でした。



湯島聖堂の裏にある神田明神は、江戸総鎮守として崇められているだけあって多くの参拝者で賑わっていました。お参りするための列に7～8分並び、神社に併設されている文化交流館でお土産を購入、楽しいひと時を過ごしました。

お参りを終えた後、門前の茶店に入って甘酒をいただきました。どなたかは本物のお酒がよかったようですが、甘酒の程よい甘さが少々くたびれてきた身体に染み渡りました。

その後、坂を下り上りして向かったのは湯島天神。入試シーズンには人であふれかえる天神様ですが、梅も終わったこの日は、然程の混雑もなくのんびりとした雰囲気の内陣でした。

今回の最後の訪問地は、旧岩崎邸庭園。
これは明治時代を代表する洋風建築で、内部の調度や天井の細工は一つひとつが凝った造りになっており、往年の三菱財閥の富と力を感じさせられる洋館です。

そして、お約束の反省会。安松先輩の案内で御徒町駅前の吉池食堂に向かい、冷たい生ビールと日本各地の冷酒に舌鼓を打ち、無事に街歩きを終わりました。



2023.3.19 報告：久保田幸雄